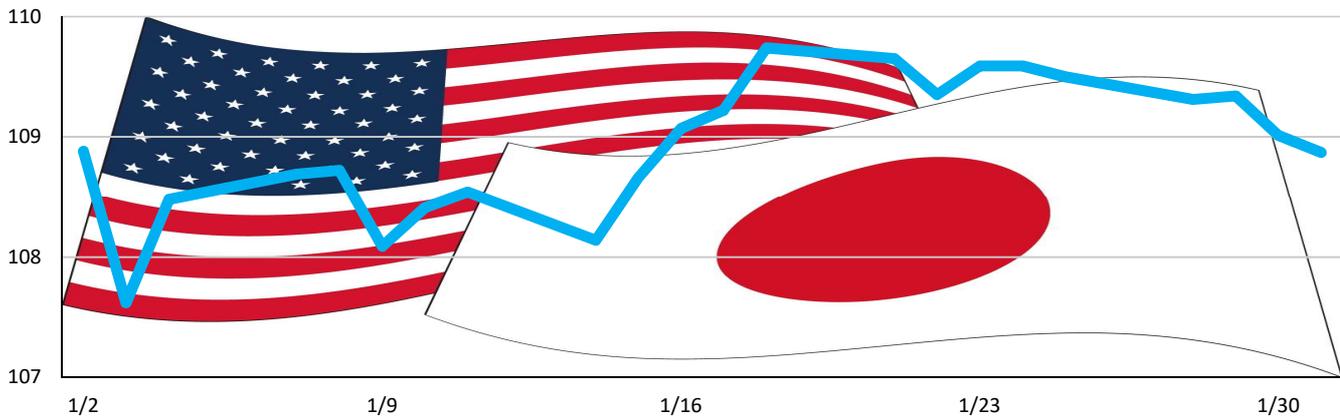


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 1月のドル円相場は109円後半～104円半ばで推移。年明けから米アップルの業績下方修正をきっかけに、年始の薄商いということもありドル円は約10分間で4円以上暴落した。ただ、暴落に対する買い戻しや良好な米雇用統計などもあり徐々に値を戻し、さらに株高に引っ張られる形で月中には110円台をトライしてきたものの、110円という節目であることや米中貿易問題、米政府機関の閉鎖長期化などから上値は重たいまま。その後は109円台で推移していたが、月末のFOMCにおいて発表された内容が利上げサイクルの打ち止めと受け止められドル売りとなったものの下値は限定的だった。

(円)

米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 依然として米中貿易問題に日米貿易問題の影響もあり不透明感が漂っている。さらに米朝首脳会談が実施される見通しとなっている中で、米中首脳会談も行われるのではないかと報道されている。また欧州に目を向けるとイギリスのEU離脱問題が波乱要因となっており、欧州通貨は売られやすい傾向となっている。そのことを考えるとドル円はある程度底堅いと思われるが、上値の重さもありしばらくは持ち合い相場となりそう。ポジションを整え、次の流れに乗っていく準備をしておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
2 / 28 (木)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
3 / 7 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
3 / 8 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
3 / 12 (火)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
3 / 14 (木)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
3 / 15 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
3 / 21 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。